

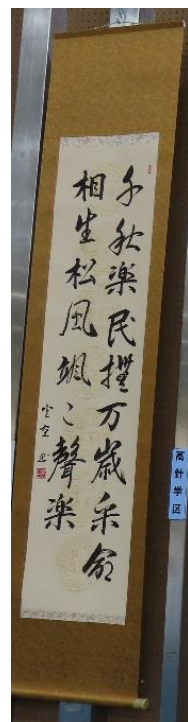
### 「趣味の作品」 メイト紙上展

安藤 登 高針学区 「ティータイム」 水彩画

歳を重ねるに従い壮年時の様に体力・智力を使わない日が多くなるためか、朝・昼・晩の3食をきちんと摂らなくても、さして日常生活に差し障りのない習慣が身につきました。即ち遅めの朝食・昼食なし夕食は、しっかりと云う様に。その為か3時頃になるとティータイムと云って、紅茶か珈琲かお茶に小腹のたしになる何かをつまむのが楽しみになりました。



今回の絵はその何かを画いてみました。



やはり食べ物だから観る人が「おいしそう」と感じてもらえれば大成功です。即ち今回の絵は皆さんが鍵を握っている訳で、そう感じてもらえたら私は良かったなと思えて更に画く意欲が増すのですが、如何でしょうか。そっと教えて下さい。その他に今回はもう一つの趣味である「書」を出品しました。この「高砂」はよく結婚式などで謡われた謡曲でその最後の一節を書いてみました。謡曲をたしなまれた方なら気が付くと思いますが、何の謡曲の練習でも構いませんが最後に今日一日有難うございましたの意味を込めて、この一節を全員で謡って終わりにしたものです。

### クラブ・プロフィール

猪子石学区 明徳会  
会長 山田 賢宏

猪子石学区には、明徳公園があります。広い敷地の中に遊園地、遊歩道、釣り池などがあり、休日には大変賑わっています。最高地点は、標高72mあり、展望台もあって、北の方角に御嶽山を眺めることができます。

明徳会は、猪子石学区で唯一の老人クラブです。2023年10月には、創立40周年を迎えることができました。

わが明徳会には、グラウンド・ゴルフ部、囲碁部、水彩画部があります。

その中でも、グラウンド・ゴルフ部は、月・水・木曜日は明徳公園のグラウンド、土曜日は猪子石小学校の運動場で週に4日練習をしています。



活気があふれる中、なごやかに楽しんでいます。また、恒例の食事会は人気の行事です。コミセンでの食事会以外に、送迎バスを利用して近くの料理店での食事会もしています。参加者も多く盛り上がっています。今後も、会員相互のつながりや協力関係が深まるそんな、「集まり」を計画したいと思います。

### 世界寺子屋運動

書き損じはがき・未使用の切手で、世界の子供たちが、文字を知る喜びで笑顔になります。事務局に、2月7日(金)までにお持ち下さい。書き損じはがき17枚で、カンボジアでは、子供一人が1か月学べます。古くても構いません。ご寄付をお待ちしています。“世界寺子運動”名古屋実行委員会



### 第53回全国老人クラブ大会に参加して

体育部長 遠藤孝雄

開催:令和6年11月20日~21日 横浜市

第1日目: 藤沢市、川崎市他 老人クラブの活動紹介  
第2日目: 「健康寿命の延伸と栄養・食事」中村丁次氏 全国大会の式典  
村木厚子会長の挨拶と会長表彰  
貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。



編集後記  
広報部に入ってから何年になるかな。各クラブの出来事その他を編集、校正することで今まで自分の地域のことだけしか分からなかった事が、広報部に入ってから各クラブの色々なことがよく分かり勉強になります。以前は白黒の印刷でしたが、今はカラー印刷でも見やすくなり皆さんに楽しく読んでいただけるようになったと思います。これからも女性代表広報部活動員で頑張ります。  
森 里美



令和7年1月20日 189号  
発行者 名東区なごやかクラブ連合会  
名東区上社二丁目50番地  
電話 052-778-3099  
http://kurouren.chu.jp/



ちりめん細工  
大鐘 絹代 高針学区

### 新年あけましておめでとうございます

会長 長尾 滋男

皆様、楽しいお正月をお過ごしのことと思います。令和6年度は、区制50周年、なごやかクラブ連合会50周年の記念年度で協賛行事も開催し、多くの会員の皆様に参加いただきました。

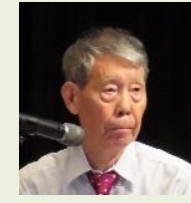


令和7年度は各種行事に参加して頂いた多くの会員の皆様を核にして、高齢化が進んでいる各クラブに新しい会員を迎え飛躍する年にしたいと思います。健康第一。今年もよろしくお祈りします。

### 令和6年度第49回名東福祉大学校

11月6日(水)第4日目(204名)

1時限目は、元名古屋大学付属病院院長、現在は愛知淑徳大学健康医療学部教授の井口昭久先生、「元気に老いる - 糖尿病なんて怖くない」の講演は ユーモアたっぷりであちこちでクスクス笑いが聞こえました。糖尿病は、治りにくいが、うまく付き合えばこわくない。されど「あなどるなかれ」患者にとって元気付けられる内容でした。



2時限目は、「名古屋よしもと」に所属されている「ユーチンさん」生まれも育ちも名東区。

今回の出し物は、漫談と大道芸で、とりわけ笑いを誘ったのは、小道具を使った大道芸で「失敗をして笑いを取る」これが「わざとであれば」なかなか計算された芸ではなかったかと私は思う。そうだとすれば、なお可笑的。またの公演が楽しみである。  
社会部 部長 松原良雄



### 教養講座 11月26日(火) 第5日目

1時限目は イタリア語で「小さな蝶」を意味する「ファルファレッタ」によるコンサート。

ソプラノ歌手、クラリネット奏者とピアノ奏者のたった3人の女性で構成されたアンサンブルグループですがその歌唱や演奏は私たちに十二分に楽しませてくれました。



2時限目は香流中学校校長 大川 富先生による講演 演題「自律して学び続ける子供の育成」の内容 「自律して学ぶ」とは「自発的に学び続ける力をつける」ということです。現在の教育現場は、教育委員会と学習指導要領のどちらからも「子供の資質、能力の育成」が求められています。そのためには教師はどのような指導改善が必要なのかと、模索・研鑽する毎日です。そんな中にも、卒業生からの声かけなどの触れ合いは教師としての何よりの喜びであります。

### 健康づくりウォーキング大会 11月15日(金)

今年からコースが万歩コースから東山植物園に変更されたこともあり、全参加者数は例年より多い620名、名東区からは62名と昨年の倍だった。

星ヶ丘門前に集合し、受付後各自思い思いに園内に散った。お馴染みの合掌造りの家、武家屋敷門を横目に歩を進め薬草の道を進む。そして、花のない桜の回廊や、今年の猛暑の所為でまだ青いイロハモミジを眺め、お花畑などを経て星ヶ丘門に帰り着く。こうしたぶらぶら歩きが「健康づくり」になったかは怪しいが、気持ちのいいひと時だった。  
鷹羽 朝子



### 令和6年度第50回趣味の作品展 12月18日~20日

名東区制50周年記念事業のひとつとして開催されました。出品者223名、573点の見応えのある作品が区役所講堂一杯に展示されました。天候にも恵まれ、目標の3日間延べ600名を超える、688名の多数の方に観覧頂きました。鮭友会からも出品を頂きました。

今年の特徴として、コロナ禍が収まってきた証なのかコミセンなどでの共同作成の作品が多く見られました。また、流行なのか「ちぎり絵」「絵手紙」「トールペイント」の作品も数多くありました。

毎年出品される、ベテランの力作に「さすが!」と感心し安堵をされる一方、「あの人の作品、今年はないね! どうしたのか?」と心配する声も聞かれました。

女性代表者会による喫茶コーナーも好評で、珈琲を飲みながらお仲間と談笑される方が多数おられ、これも作品展の成果でした。記念事業の所為なのか、初めて観覧された方が例年より多く、入会希望の方も3名程ありました。多くの方のお陰で無事開催できましたことを、文化部として、厚く御礼を申し上げます。

文化部 部長 加藤 誓(ちかい)



### 「趣味の作品」×イト紙上展 令和6年度

“文化部長の応援を得て、広報部員が「この作者の一言を聞いてみたい」と選んだ作品です”

#### 伊藤 真知子 藤が丘学区「ハウルの城」シャドーボックス

皆さまはシャドーボックスをご存知でしょうか? 17世紀のヨーロッパで生まれ、アメリカで発展して日本に入ってきました。



同じ絵柄の紙を複数枚用意して、パーツを切り貼りして重ねることで3Dの様に立体的に仕上げます。

10年前に何か趣味を習いたいと思ひ、色々な講座を探していたら、シャドーボックスというのがありました。

あまり馴染みがなく知っている方も少ないと思ひ気持ち動き、習い始めました。

魅力は、自分好みの表現が作り出せることとカッターで細かい部分をカットするとき、時間も忘れてしまう程集中できることです。

今回の「ハウルの城」は区役所を訪れた時、ロビーにジブリパーク2期のプリントがありました。「アッ!これはシャドーにできるかもと数枚頂きました。(笑い)

春にジブリで見たのを思い出しながら作品を作りました。

#### 大石富恵 梅森学区「野菜」パンフラワー

白い大皿に赤やグリーン、オレンジ色の小さな野菜が盛られた作品を覚えていらっしゃいますか。

あれはパンフラワーという手芸作品で小麦を原料とした粘土で作られています。



白い粘土に赤やグリーンの色付けをし、針金を芯にしてラディッシュやニンジンなどを個々に作り盛り合わせたものです。

大石さんは、教室に1年程通って作られたそうです。

レポーター: 鷹羽 朝子

#### 青山 茂彦 本郷学区「思い出の古木」工芸

結婚した当時、わが家は平屋で中庭がありました。庭に関して興味があり、遊び心で定光寺の小川の石拾いに出かけた時のことです。

少し拾い休憩していた時、ふと山中に目を向けたところ、思いかげず「石を噛んだ古木」が30m先に見えたので、これは珍しいと思ひ近づいて行きました。



古木は倒れてはいたがまだ少し根が付いていました。

道具の持ち合わせがなかったので素手で無理やり引き抜き持ち帰りました。

当時会社勤めで土・日の暇をみては1年程かけて磨き仕上げました。

我が家の家宝として大切に保管しております。

今まで皆様に披露することはなかったが、「名東区制50周年記念事業令和6年度50回趣味の作品展」に自分としても記念にもなりと思ひ出品しました。

皆様にみて頂く機会が出来、嬉しく思います。



ホームページへ!

QRコード

紙上展以外の作品を掲載しています。ご覧下さい!

#### 入門利夫 貴船学区「たそがれ」写真

撮影地は 大阪難波 道頓堀です。

「食いだおれ」の風景を撮りに行ってきました。法善寺横丁の屋台寿しです。お客と店主、そして裸電球、夕方の雰囲気があります。



(寸評: 寿司屋の大将の顔が良い!)

#### 佐々木 春美 引山学区「革製ハンドバッグ」手芸

革に絵を描いて色を付けるのは初めてなのでどんなものが出来るのか楽しみでした。

これを使ってバッグにするのも興味があり手作業も楽しくて作品が出来上がれば自分だけの物なので嬉しいですね。バッグだけでなく額絵やコースター、動物のキーホルダー、財布や小銭入れ等残りの革を使い切るように小物もいろいろ作りました。



教室は豊田市なので通うのが大変でしたが充実した時間を過ごせたので満足です。

(寸評: 素晴らしい! 自分だけでは使いきれないのでは?)

#### 大矢 フミ子 上社学区「子供たち」工芸(陶)

今はあまり目にしないのですが、多くの子供たちや犬がくつろいだ姿でいる、日本の原風景を作ってみました。「徹子の部屋」のセットに使われている妖精の人形で知られる大好きな人形作家 与 勇輝(あたえ ゆうき)氏の作品を意識して子供たちを作り 犬は我が家の柴犬をモデルに作ってみました。

(寸評: 顔にそれぞれ表情があり「この人形の顔、あなたにそっくり!」との会話で盛り上がっていました。)

#### 利光昭子 平和が丘学区「花器」工芸(陶)

洋裁店を営んでいた頃(35年程前)陶芸に興味を持ち始め、お休みの日をみては、今池のガスビルで陶芸を習い始めました。その後愛知県陶芸資料館で基礎を習い、陶芸が段々と面白くなってきました。

丁度居合わせた瀬戸品野セミプロの先生に皿やロクロの回し方など作品の創り方を習い、2005年10月第58回「瀬戸市美術展」陶芸の部で「層〇〇」と名付けた自作品(結構大きい)を出品し金賞を頂いたこともありました。

名東区の美術展に出品したり、他の美術展で賞を頂いたこともありました。

昨年10月運転免許証を返納し、最近では近在のコミセンで生糸や色々の糸で編物をして楽しんでいます。



#### 楠 多美子 猪子石学区「出番を待つ」他 洋画

鯉城学園美術学科を卒業しまして8年になります。仲間の皆さんのお陰で、なんとか絵を描き続けることが出来ました。

今年、名東区創立50周年の区民美術展に出展し、中日賞をいただくことができました。

これからも、日常の中にある、素敵な風景や、静物など、少しでも納得できる作品ができるよう楽しみ(?)ながら、努力していこうと思ひます。



1~3 月会員募集月間 なごやかクラブ会員募集